

M4A3 (76)Wシャーマンについて

M4シャーマンは1942年の出現当時としてはドイツの4号戦車とほぼ互角の性能を有し、機械的信頼性の高さや量産向きのシンプルな構造で大量生産され、大戦中期には連合軍の標準戦車としての役目を担っていました。シンプルな車体は内部容積の拡大などには貢献しましたが、反面で被弾時の弾薬の誘爆などによる破壊も頻発し、車体の改修も課題となりました。そこで防衛上の問題点とされたドライバーズフードの出っ張りを無くして前面装甲を一枚板として再設計し、弾薬箱の周囲を水で囲うことによって被弾時の誘爆を防ぐ処置が施されました。この湿式弾庫を有する新車体のM4シャーマンには形式名の後に「W」を冠して旧型車体と区別されました。一方でドイツ軍がパンターやティーガーなどの新鋭戦車を戦線に投入すると、従来の75mm砲の劣勢は明らかとなり、対戦車戦闘力を向上させた高初速の戦車砲の搭載が計画されました。こうして開発された76mm砲は後座量の増大に伴って完全に新設計された砲塔に搭載されることになったのです。

またフォード製ガソリンエンジンを搭載するM4A3はガソリンエンジン搭載車としては最も優れているとの評価を得、アメリカ軍向けの主力として量産されました。このような経緯もあり、76mm砲型の量産はM4A1とM4A2(ソ連向け)、M4A3に絞られることになりました。こうして76mm砲型のシャーマンはまずM4A1の後期車体に搭載され、続いてM4A3の後期車体にも搭載されて量産が開始されたのです。M4A3(76)Wの量産は1944年3月から開始されましたが、75mm砲型よりも榴弾の炸薬量が少ない76mm砲型は当初は前線で敬遠され、1944年9月によりやく実戦に投入されました。パンターやティーガーに対抗する本格的な新型戦車としてM26パーシングの開発が行なわれていましたが、配備まではまだ時間がかかり、76mm砲型のシャーマンは強力なドイツ戦車に対抗するには必要不可欠の装備だったのです。最終的にM4A3(76)Wは76mm砲型のシャーマンとしては最も多い4542両が生産され、連合軍の勝利に貢献したのです。

組み立てを始める前にお読みください

READ BEFORE BUILD



この説明書は1/35 M4A3 (76)W シャーマン 35-019 の組み立て説明書です。塗装とマーキングは別紙の塗装説明書に指示しております。組み立てを始める前に両方に目を通し、全体の流れをよく把握しておいてください。

- このキットは3種類の塗装例を選べますが、それぞれで一部仕様が異なります。最初にどの塗装例にするか決めてください。
- ナイフやニッパーなどの刃物の取り扱いには充分ご注意ください。商品の価格上先端の尖った部品があります。お取り扱いには充分注意して下さい。
- 部品とランナーをつなぐゲートには部品の下側に入り込んでいるものと、横に付いているものがあります。注意してカットしてください。
- 部品は接着剤をつける前に接着位置を確認するなど必ず仮組みをして下さい。特に可動部には接着剤がつかないように注意してください。
- 成形品には金型の油や離型剤がついている場合があります。組み立て中の汚れ落としを兼ねて塗装前に中性洗剤で洗うことをお勧めいたします。
- 成形品の接着にはプラスチックモデル用接着剤をご使用ください。

- Study the instructions thoroughly before assembly.
- When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.
- Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used.
- Use plastic cement and paints only (available separately).
- Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.

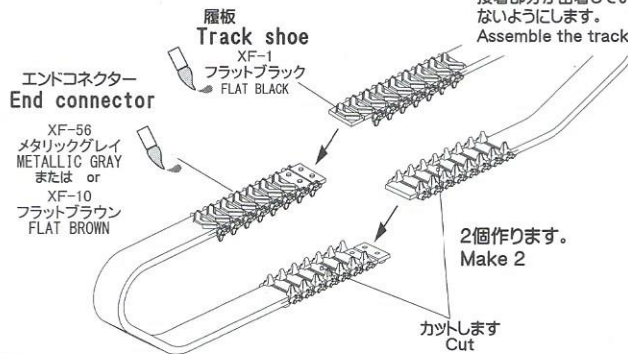
Mark guide

- ✗ Do not cement and attn moving.
- ⚠ Pay attention.
- ❓ Choose type of vehicle.

・パッケージ原画：島村英二氏
・イラスト：モリナガ・ヨウ氏

1 キャタピラの組立 Track assembly

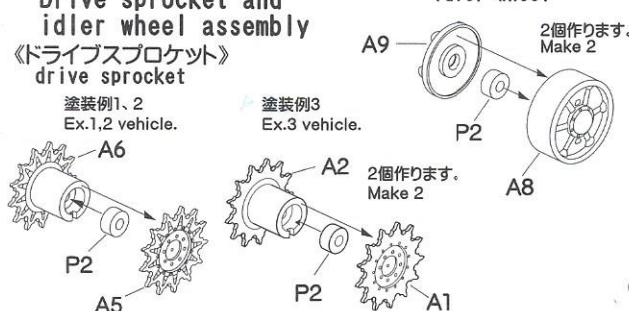
キャタピラはプラスチックモデル用接着剤で組み立てます。接着部分が密着していることを確認し、接着が乾くまで動かさないようにします。
Assemble the track with plastic model cement.



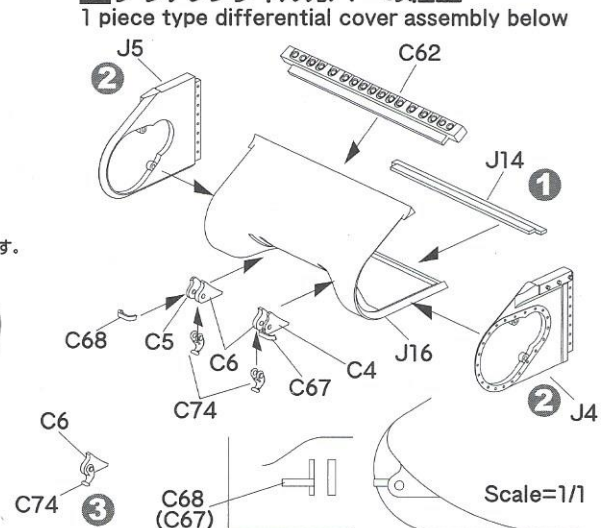
XF-62 オリーブドラブ OLIVE DRAB
組立図中で特に指示のないところは全て基本色(オリーブドラブ)です。
Where color is not specified please use OLIVE DRAB.

2 ドライブスプロケットとアイドラーホイールの組立 Drive sprocket and idler wheel assembly

《アイドラーホイール》 idler wheel

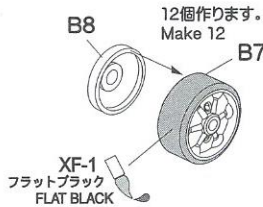


3 テファレンシャルカバーの組立 1 piece type differential cover assembly below

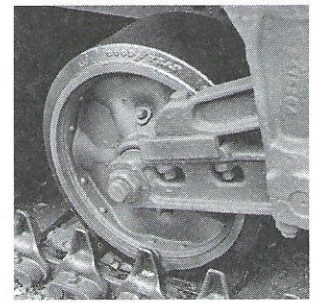


4 サスペンションアームの組立 Suspension arm assembly

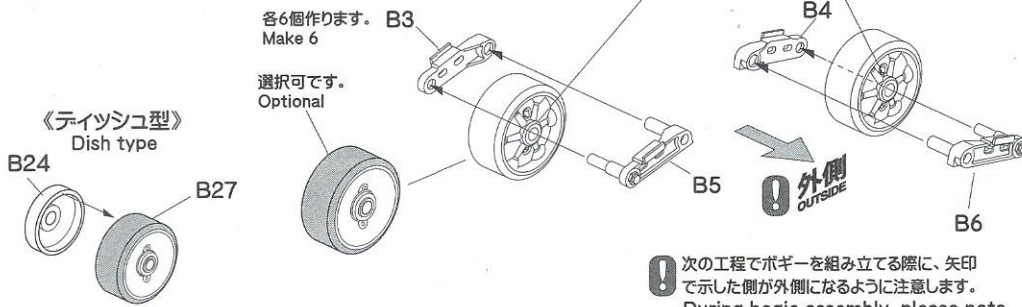
《ソリッド・スポーク型》
Solid spoke type



部品B7にはランナー上に彫刻されている半球を使ってリベットを追加できます。
Rivets on B sprue are added to the rim of B7.



ホイールに接着剤がつかないように注意します。
Part B5 and B6 must only be glued to part B3 and B4.



次の工程でボギーを組み立てる際に、矢印で示した側が外側になるように注意します。
During bogie assembly, please note outside direction

5 ボギーの組立 Suspension assembly

左右各3個作ります。
サスペンションアームを組み込むまでは間を開かず一度の工程で組み立てます。図は左側用を示しています。
Make 3 for each side. Following illustration shows the left side.

発泡ゴムのシートを約4.5ミリX11ミリの大きさにカットします。下の図を参考にカットしてください。

原寸
Cut rubber sheet.
4.5mm X 11mm

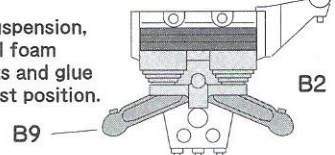
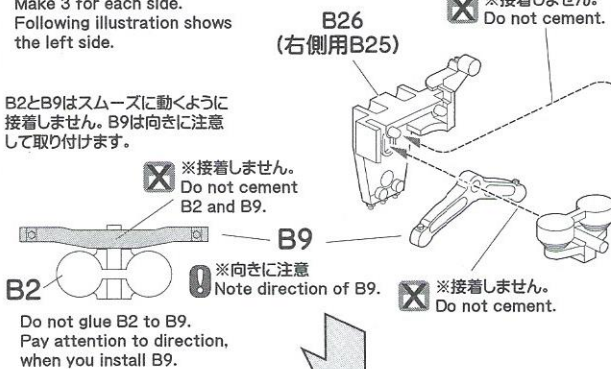
《発泡ゴムシート》 Rubber sheet

カットした発泡ゴムのシートをサスペンションの間にピンセットなどで押し込みます。3枚が標準ですが、情景などで台に固定する場合などは、前後のサスペンションを4枚にするなどしてテンションを調節します。

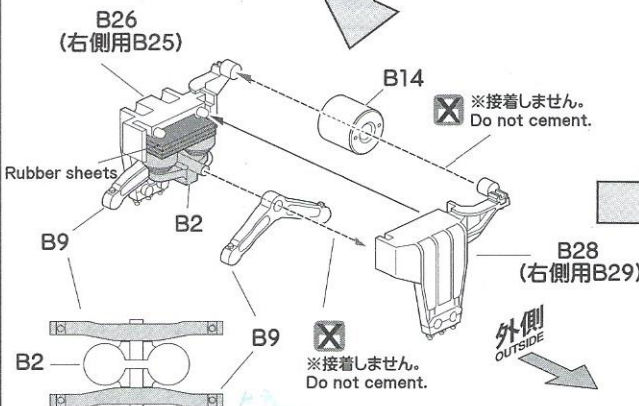
The foam rubber is pushed in between the bogie and suspension spring as shown in diagram. Adjust tension to taste

《発泡ゴムシート》 Rubber sheet

To fix the suspension, do not install foam rubber sheets and glue B2 into lowest position.



サスペンションの沈み込みの再現の必要ない場合、発泡ゴムシートを組み込みます。B2を一番下まで下げた状態(標準位置)で接着し、高さを固定する方法もあります。お客様の使用状況に応じて選択してください。



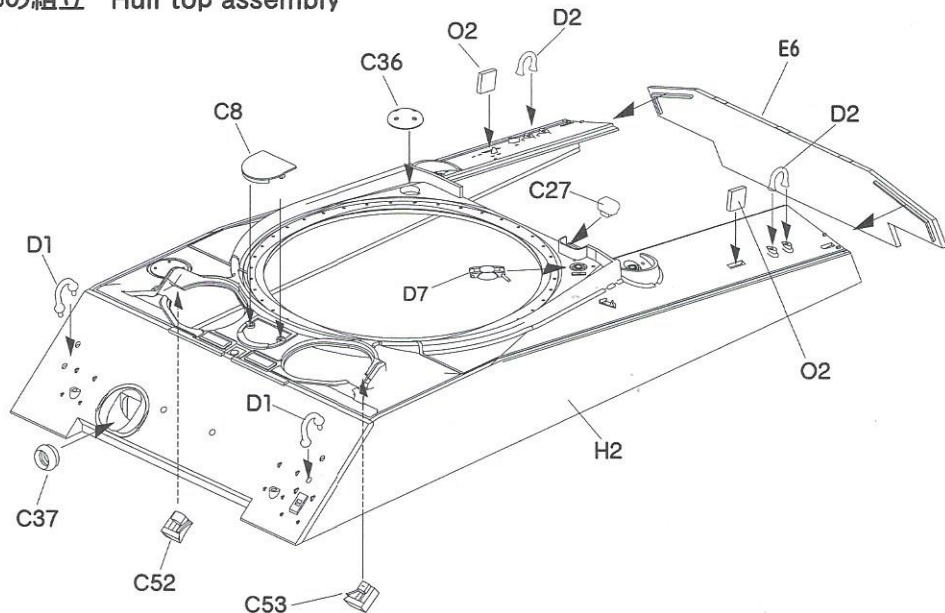
※接着しません。 Do not cement.

※接着しません。 Do not cement.

B28とB26 (右側用はB29とB25)が完全に固着する前にサスペンションアームをボギーに押し込みます。
アームの車体側と外側の向きに注意します。
Push road wheels in before cement sets.

接着が乾くまで動かさないようにします。
Until glue dries, try not to move.

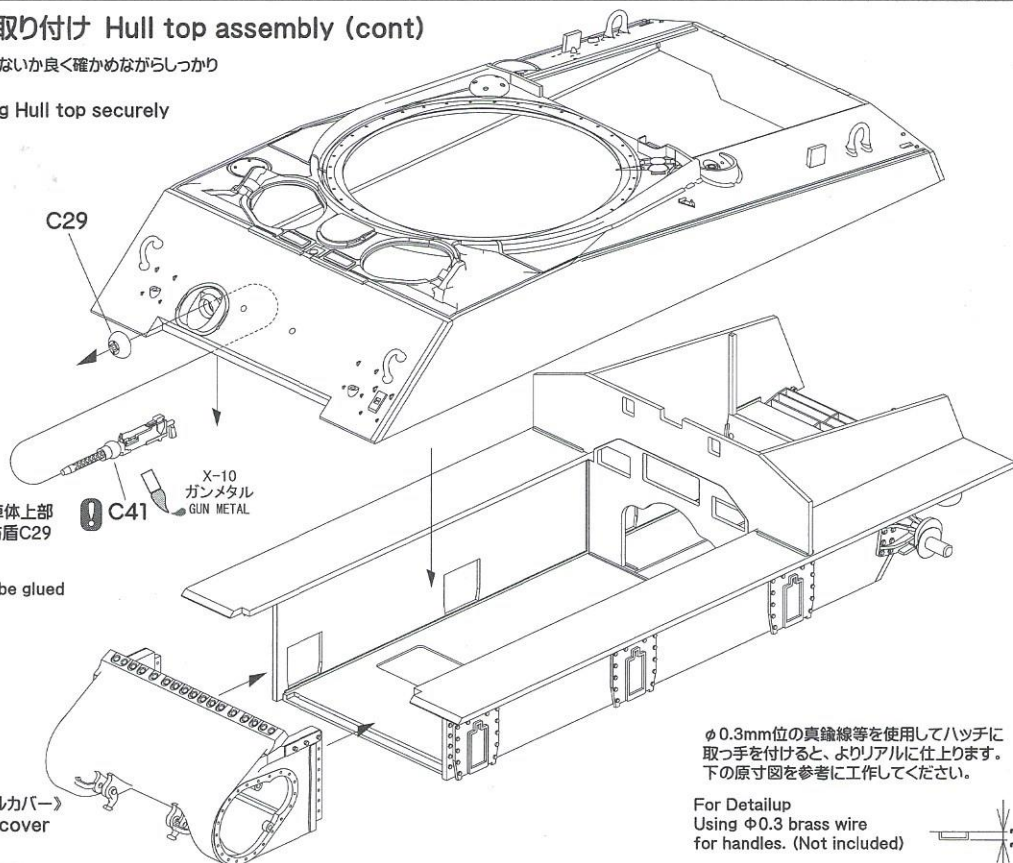
7 車体上部の組立 Hull top assembly



8 車体上部の取り付け Hull top assembly (cont)

車体上部は浮いていないか良く確かめながらしっかり接着してください。

Take care gluing Hull top securely



車体前方機銃C41は車体上部には接着せずに機銃防盾C29にのみ接着します。

Part C41 must only be glued to part C29.

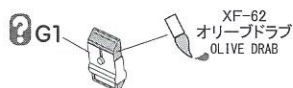
φ0.3mm位の真鍮線等を使用してハッチに取っ手を付けると、よりリアルに仕上がります。下の原寸図を参考に作業してください。

For Detailup
Using φ0.3 brass wire for handles. (Not included)

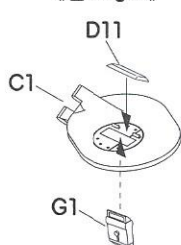
9 ドライバースハッチの組立 Drivers hatch assembly Hatch reverse side assembly

ペリスコープ(G1)は透明か色付きの部品を選びます。

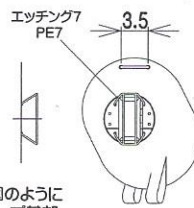
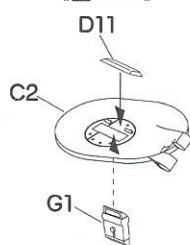
The periscope (G1) is a clear part. Paint as per the color annex



《右 Right》



《左 Left》

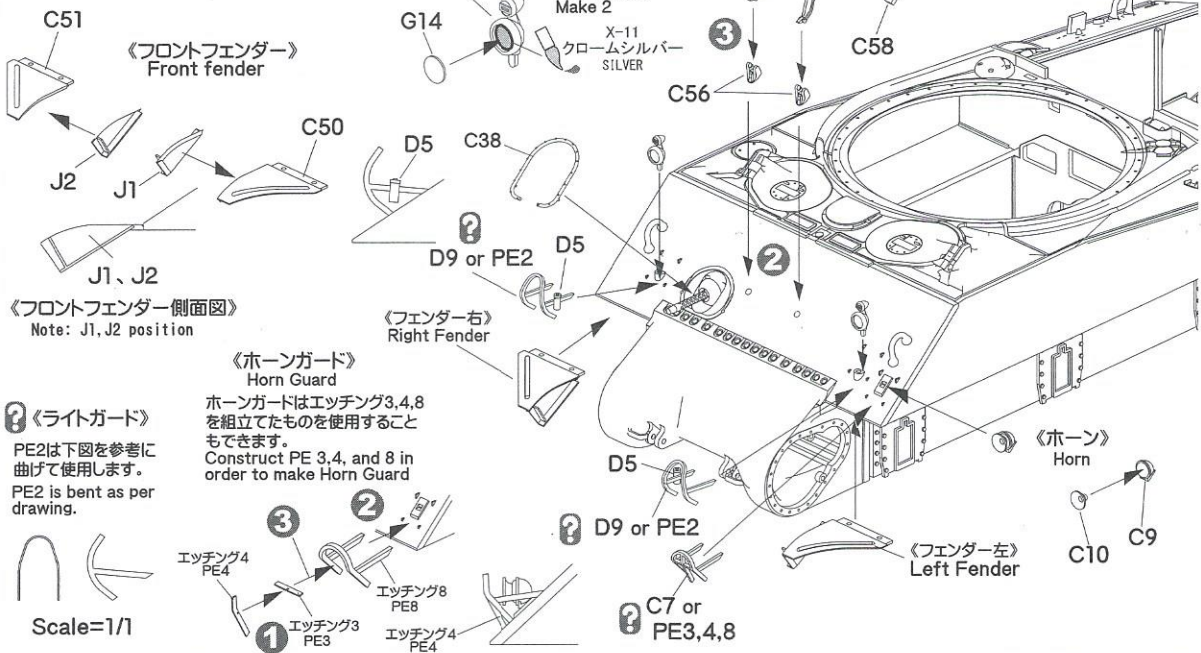


エッチング7を図のように曲げてペリスコープ基部の上に取り付けます。

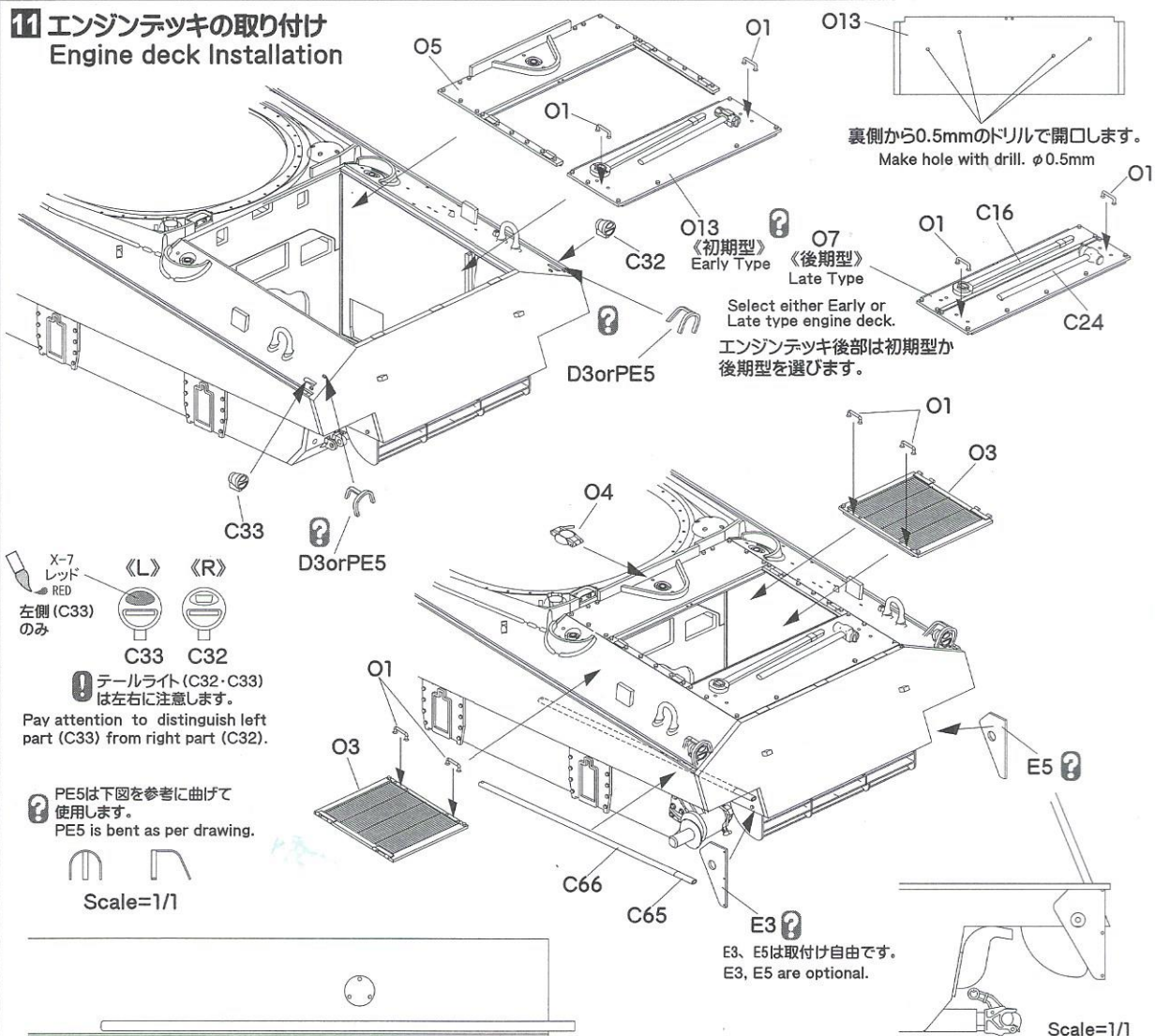
PE7 is bent as per drawing.

Scale=1/1

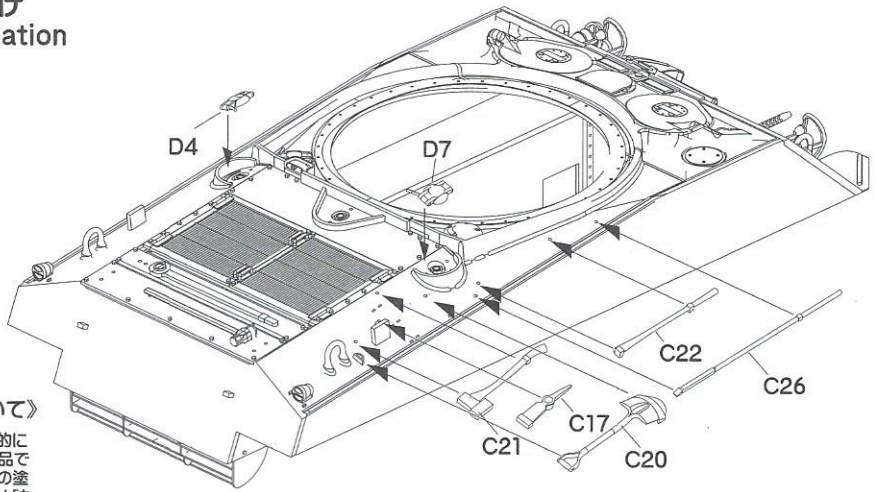
10 車体上部部品の取り付け Hull upper part installation



11 エンジンテッキの取り付け Engine deck installation



12 車体右側部品の取り付け Hull right side installation

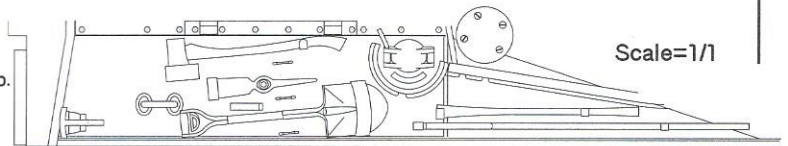


《OVM(車外装備品)の塗装について》

アメリカ軍の軍用車輛の車外装備品は基本的にオリーブドラブで塗装されていました。本製品でも塗装指示は車体色との前提に立ち、個別の塗装指示はしてありませんが、使用中に色がはげたり、汚れなどの表現をすると、単調にならずリアルになるでしょう。

Hull Accessories Painting Guide

American hull accessories were basically olive drab. Even when painted the paint usually came off showing the olive drab or base material.

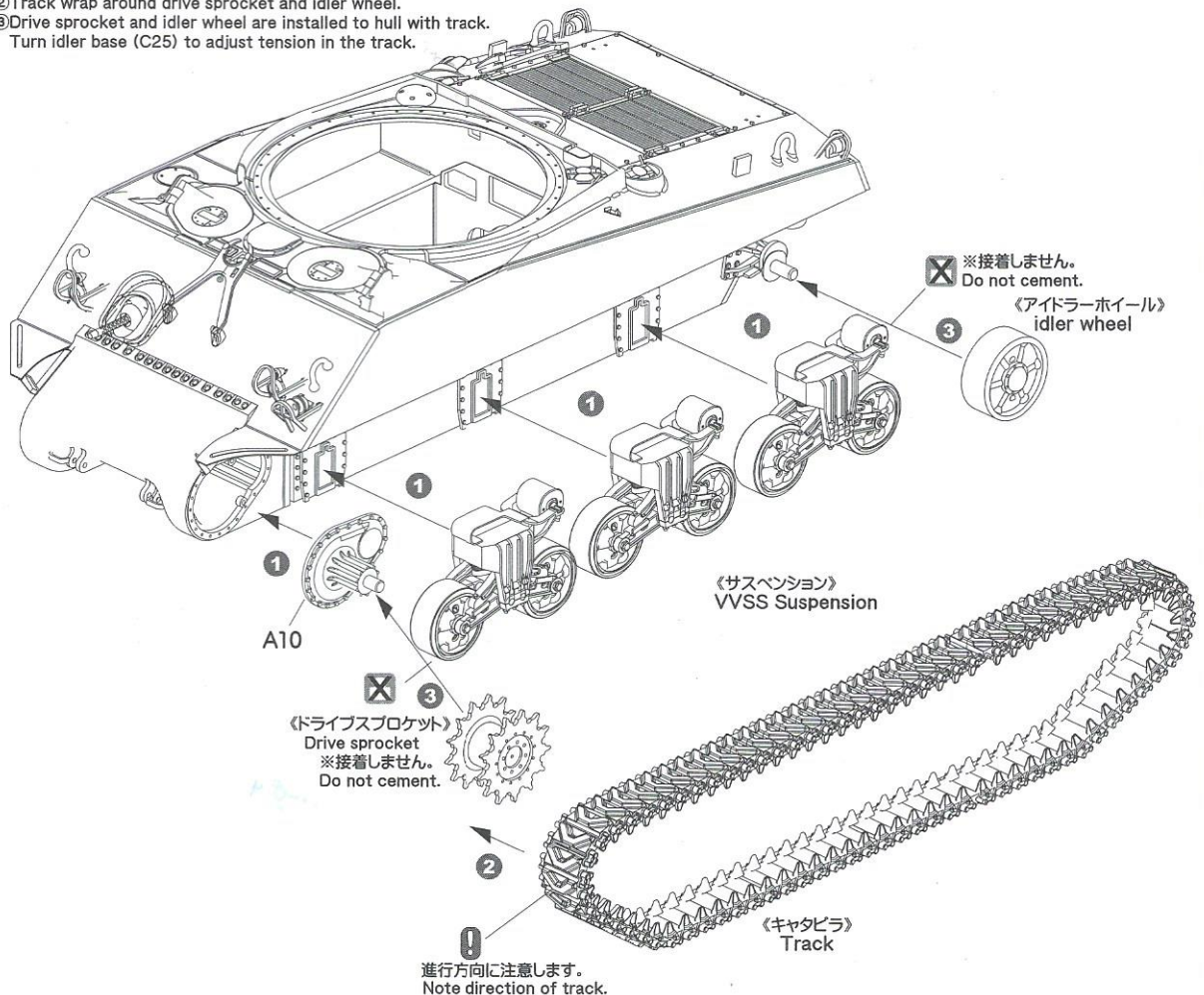


13 キャタピラの取り付け VVSS Suspension

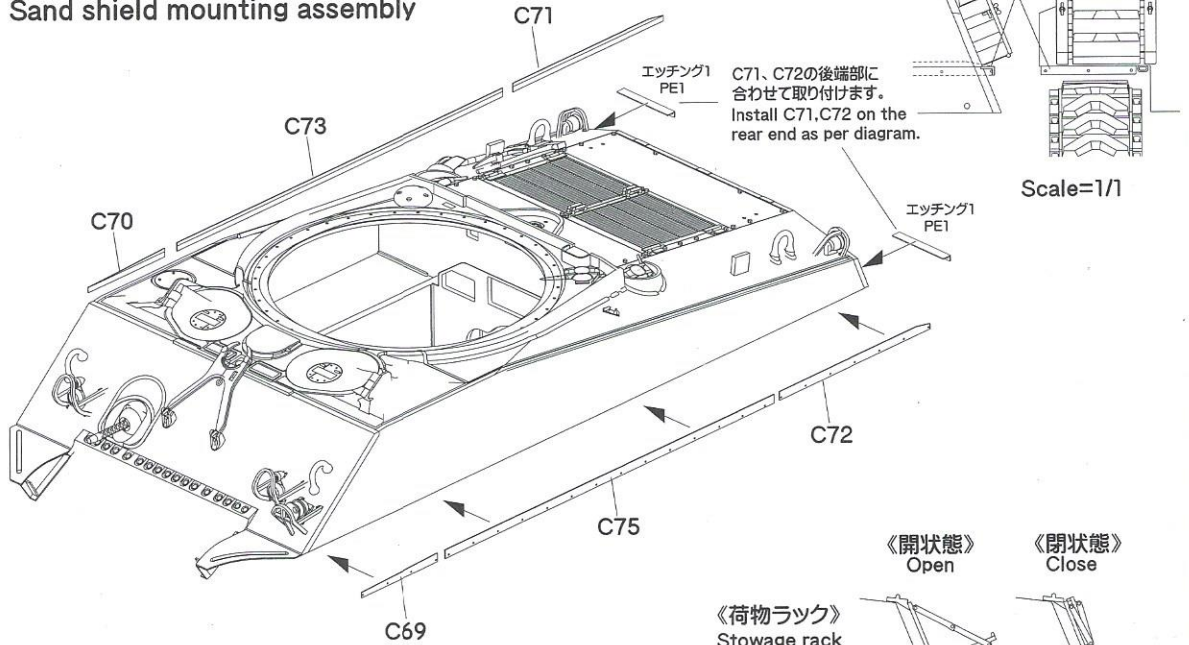
車体にファイナルドライブ (A10) とサスペンションを接着し、良く乾燥させます。ドライブスプロケットとアイドルホイールにキャタピラを巻きつけ同時に基部に差し込みます。アイドルホイールの基部を慎重に動かしながらテンションを調整します。右側も同様に取り付けます。

《Assemble steps ① to ③》

- ① Install A10 and Suspensions. Allow cement to dry.
- ② Track wrap around drive sprocket and idler wheel.
- ③ Drive sprocket and idler wheel are installed to hull with track.
Turn idler base (C25) to adjust tension in the track.



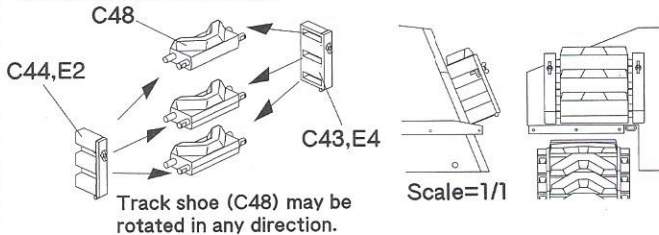
14 サンドシールド基部の取り付け Sand shield mounting assembly



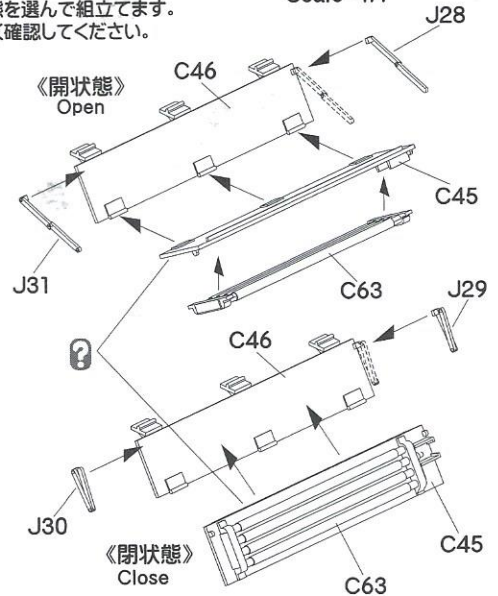
15 リヤパネル部品の取り付け Rear panel attachments.

《予備キャタピラホルダー》
Spare track holder
2個作ります。
Make 2

履板 (C48) の向きは自由です。



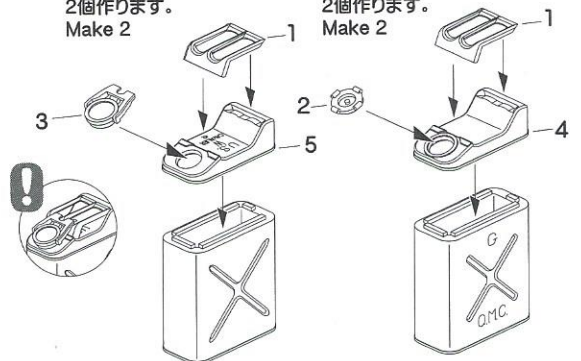
荷物ラックは開状態か閉状態を選んで組立てます。
各部品の位置を仮組みでよく確認してください。
Stowage rack can be assembled in a closed or open state. Please trial fit each part.



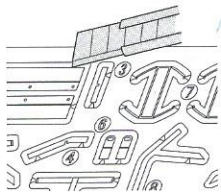
ジェリカンの製作 Jerry can assembly

《水用》water
2個作ります。
Make 2

《ガソリン用》gasoline
2個作ります。
Make 2

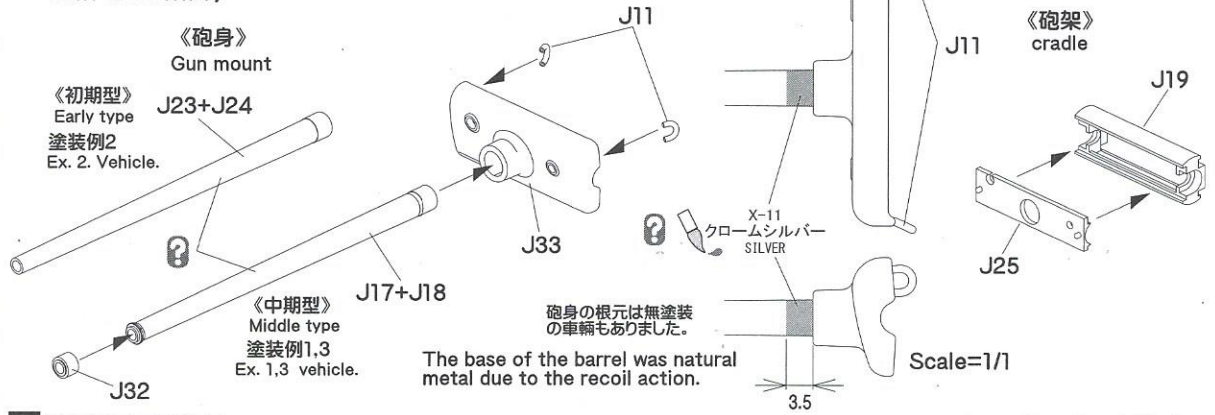


《エッチングパーツについて》 Photoetch Guide

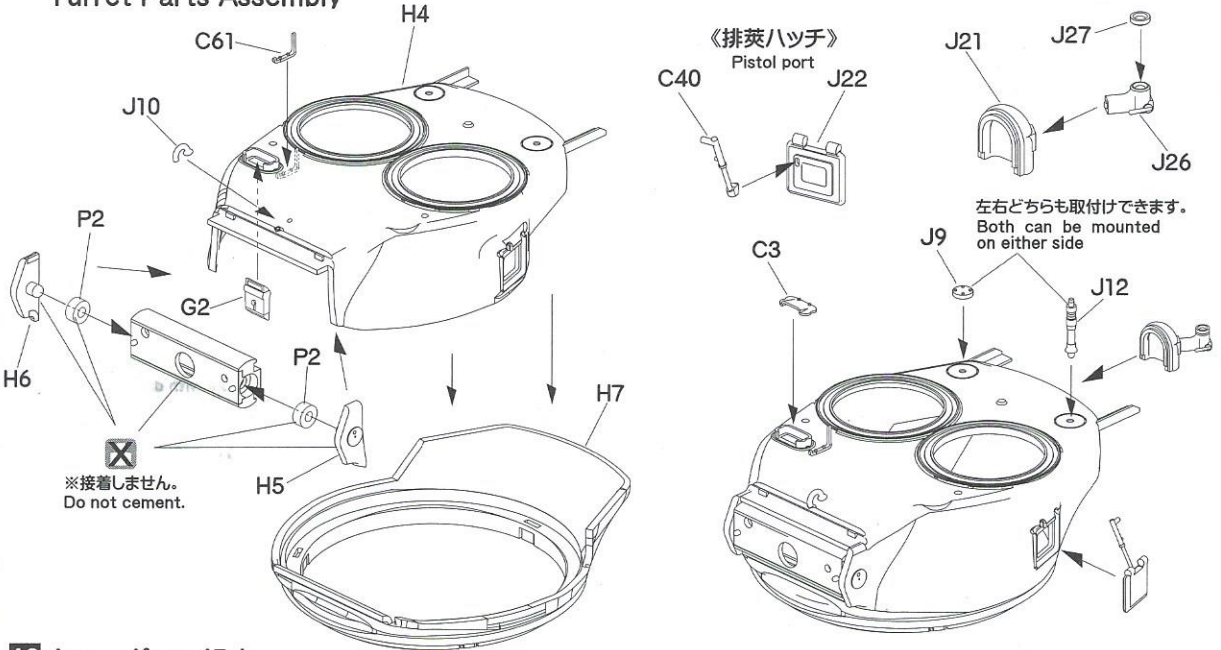


- エッチングパーツの切り出しには、下に厚めのプラ板等を敷いてカッターナイフなどで慎重にカットして下さい。切り出しの際、下が乗らかいとパーツが変形します。
- 切り出したエッチング部品はブリッジ(繋ぎ目)の部分をヤスリなどできれいに成形してください。
- 直線部分の曲げ加工には専用工具を使うか、金尺等をしっかり当ててすれないように丁寧に曲げてください。
- 接着にはゼリー状瞬間接着剤か透明のゴム系接着剤をお使いください。
- 塗装面には金属用プライマーを塗布してください。

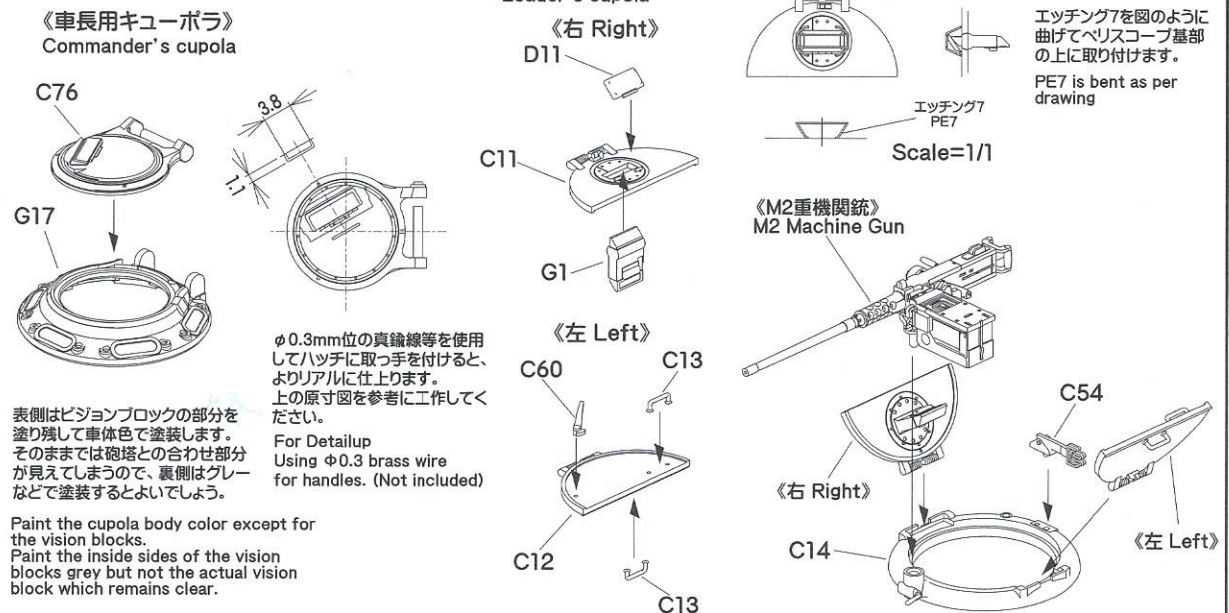
16 主砲の組立 Gun assembly



17 砲塔部品の組立 Turret Parts Assembly



18 キューボラの組立 Cupola Assembly

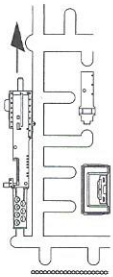


19 M2重機関銃の組立 M2 Machine Gun Assembly

このページではキューポラ上に取り付けるM2重機関銃の組み立てを行います。
非常に細かい部品が多いので慎重に組み立てましょう。
This page instruction assembles cupola M2 machine gun.

A 機銃本体の組立 Machine gun assembly

ランナーから機銃本体を引き抜きます。
Pull the machine gun itself from the runner.



ゲートの跡を整形します。
Gate mark fairing stripe



どちらか選びます。
Choose one

《閉状態》
Closed

機銃本体
Machine gun

X-10
ガンメタル
GUN METAL

XF-1
フラットブラック
FLAT BLACK
または
XF-10
フラットブラウン
FLAT BROWN

XF-1
フラットブラック
FLAT BLACK
または
XF-10
フラットブラウン
FLAT BROWN

《開状態》
Open

with handle

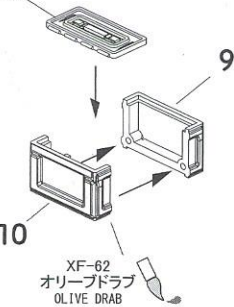
w/o handle

どちらか選びます。
Choose one

取付位置詳細図
Installation position detail

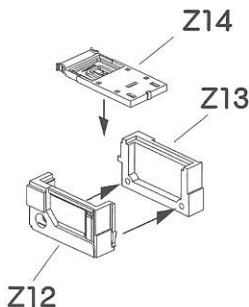
B 弾薬箱の組立 Ammunition box assembly

《100発用弾薬箱》
100 round ammo box

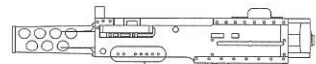


XF-62
オリーブドラブ
OLIVE DRAB

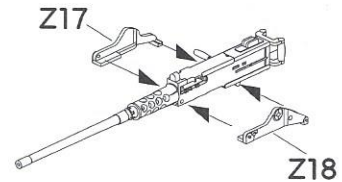
《弾薬箱B》
ammo box B



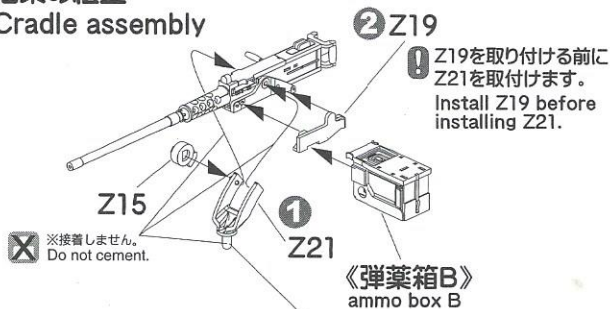
C 揺架の取付 Cradle installation.



揺架の付く部分のリベット模様を削り取ります。
Shave off rivet pattern.



D 揺架の組立 Cradle assembly



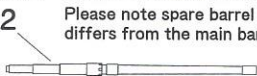
※接着しません。
Do not cement.

《弾薬箱B》
ammo box B

Z21の軸が緩い場合はペンチ等で軽く潰して固さを調整します。

If Z21 axis is loose adjust the stiffness by crushing lightly with pliers

《予備銃身》 本体から取り外した状態で使用する
Spare barrel
ときはこの部品を使います。
Please note spare barrel differs from the main barrel



XF-56
メタリックグレイ
METALLIC GRAY

XF-6
コッパー
COPPER

弾帯はお湯に漬けながらゆっくり何回か手で曲げて馴染ませます。急激に曲げると折やすいのでご注意ください。

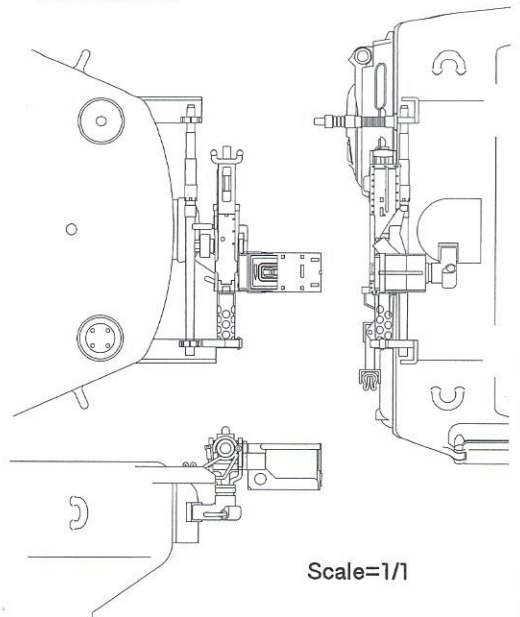
X-12
ゴールドリーブ
GOLD

《弾帯》

Use the steam from hot water and bend slowly by hand to make cartridge belt more realistic. Please don't let the belt bend suddenly.

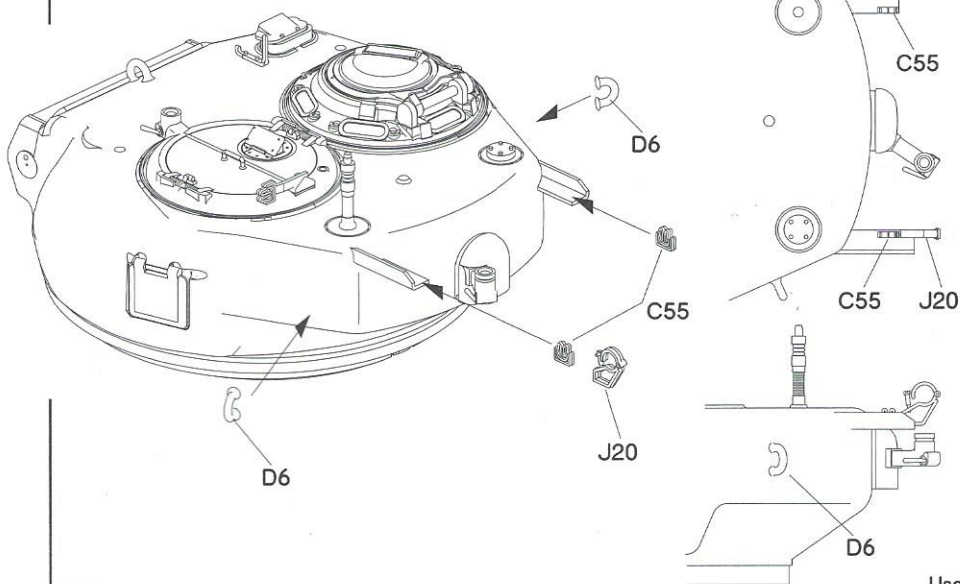
《参考》 Reference

機銃は僅かな工作で砲塔後部に収納することもできます。
The M2 Machine gun can be stored at the rear of the turret.



Scale=1/1

20 砲塔後部の組み立て Assembling the rear turret



ワイヤーロープを取り付ける場合は、 $\phi 0.5$ ミリ程度の市販のナイロン紐やワイヤーを160ミリの長さで切り出し両端にD10を接着します。

Use either a 160 millimeter $\phi 0.5$ millimeter length of nylon string or wire.
Glue D10 to the both ends.

《ワイヤーロープ》
Tow cable

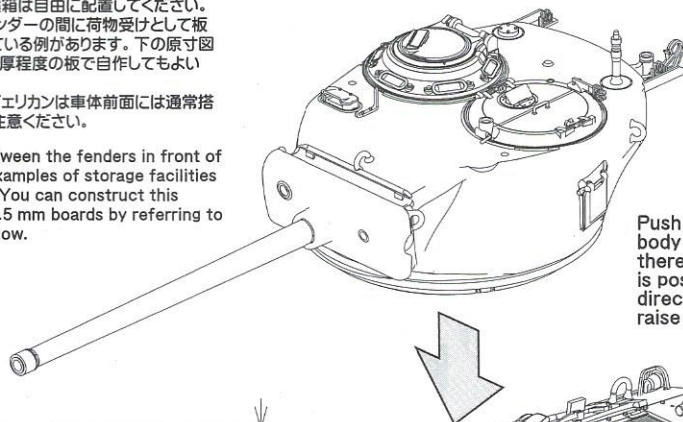
XF-56
メタリックグレイ
METALLIC GRAY

21 M4A3(76)Wの完成 M4A3(76)W Completion

砲塔を車体に水平にクリックがあるまで押し込みます。360度どの方向からも着脱が可能です。砲塔を外すときは持つ所に注意しながら慎重に車体から持ち上げます。

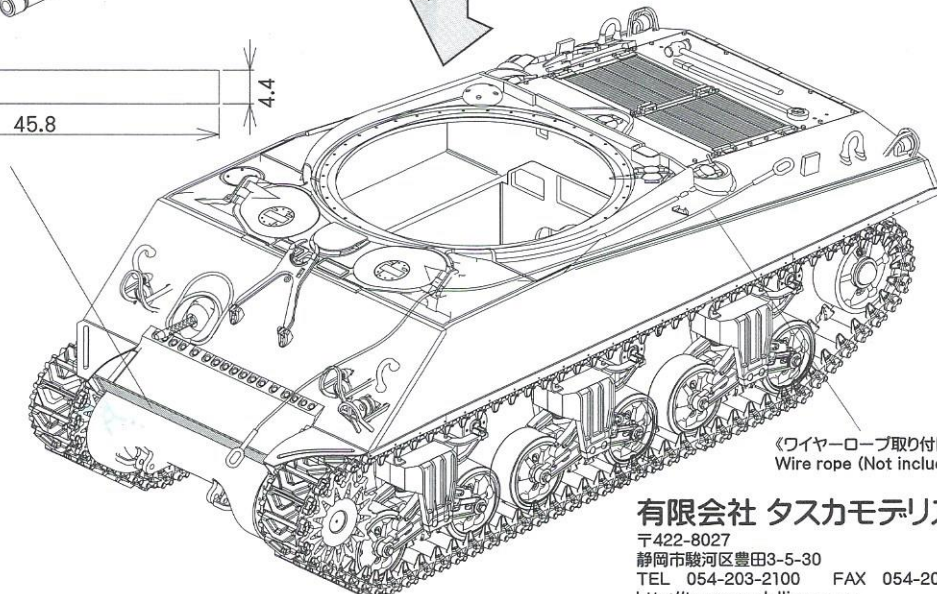
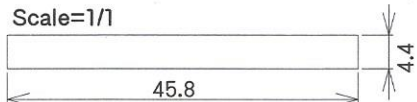
ジェリカンや弾薬箱は自由に配置してください。車体前面のフェンダーの間に荷物受けとして板などを取り付けている例があります。下の原寸図を参考に0.5mm厚程度の板で自作してもよいでしょう。なおガンソリン用ジェリカンは車体前面には通常搭載しないのでご注意ください。

The boards between the fenders in front of the body are examples of storage facilities being installed. You can construct this yourself with 0.5 mm boards by referring to the drawing below.



Push the turret horizontally to the body. The turret is pushed in until there is click. Installation and removal is possible from 360 degrees in every direction. When removing the turret, raise from the body carefully.

Scale=1/1



《ワイヤーロープ取り付け例》
Wire rope (Not included)

有限会社 タスカモデリズム

〒422-8027
静岡県駿河区豊田3-5-30
TEL 054-203-2100 FAX 054-203-2103
http://tasca-modellismo.com
E-mail info@tasca-modellismo.com

1/35 U.S. Medium Tank M4A3 (76)W Sherman

1/35 アメリカ中戦車M4A3(76)Wシャーマン

tasca

35-019

塗装説明書

組み立てを始める前にお読みください。 Read before construction

この説明書は35-019 1/35 アメリカ中戦車M4A3 (76)Wシャーマンの追加説明書です。組み立てに関しては、別紙のアメリカ中戦車M4A3 (76)Wシャーマンの組み立て説明書とあわせてご覧頂く必要があります。あらかじめそれぞれの説明書に目を通し、全体の流れを把握してから組み立てに入ってください。

This instruction manual is for the 35-019 1/35 U.S. Medium Tank M4A3(76)W Sherman.

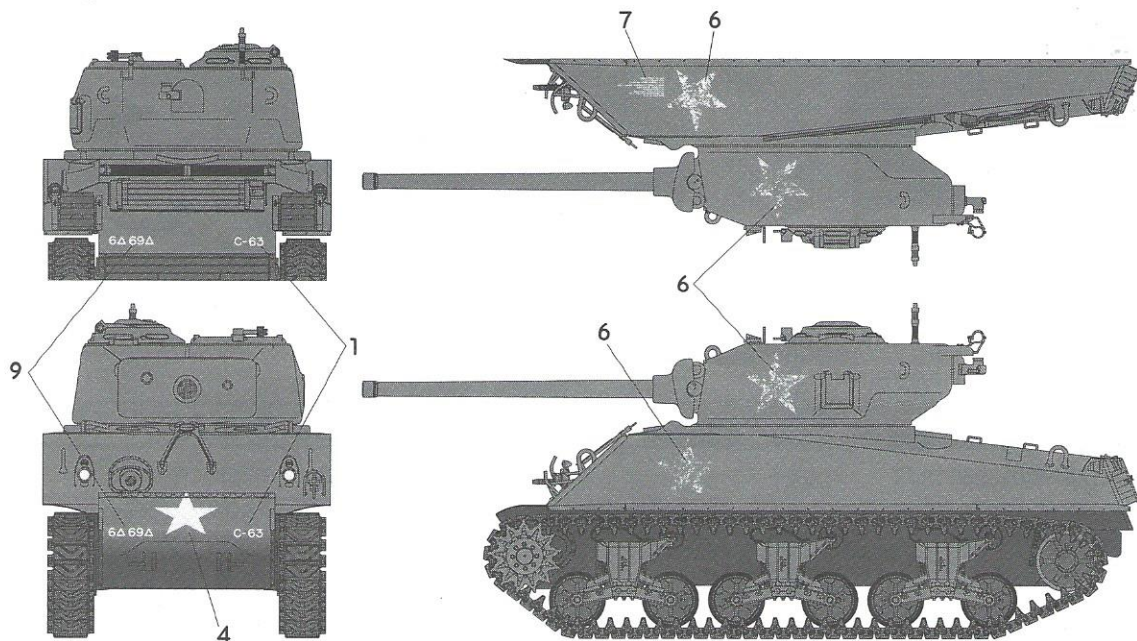
It is an additional instruction manual for the 1/35 U.S. Medium Tank M4A3(76)W Sherman.

In regards to assembly, please read this annex carefully and adjust the instruction manual accordingly.

塗装例 1

第6機甲師団 第69戦車大隊C中隊 1944-45年 フランス・ドイツ
C Company, 69th Tank Battalion, 6th Armored Division. 1944-45.

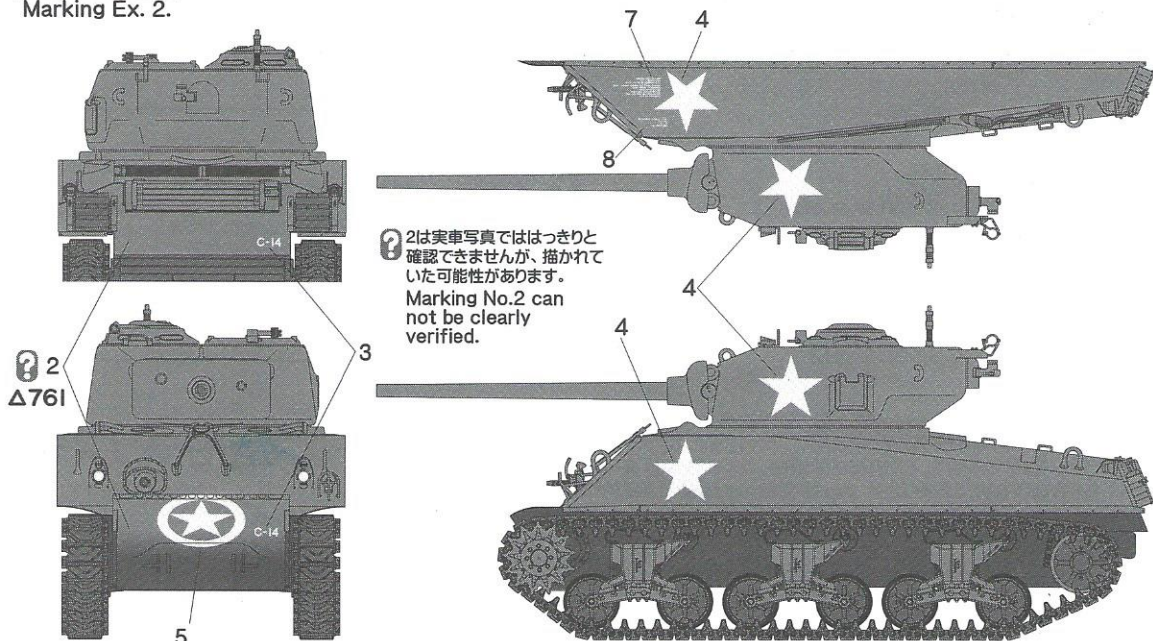
Marking Ex. 1.



塗装例 2

第761戦車大隊 C中隊 1944年11月 フランス・ナンシー
C Company, 761st Tank Battalion. Nancy France, November 1944.

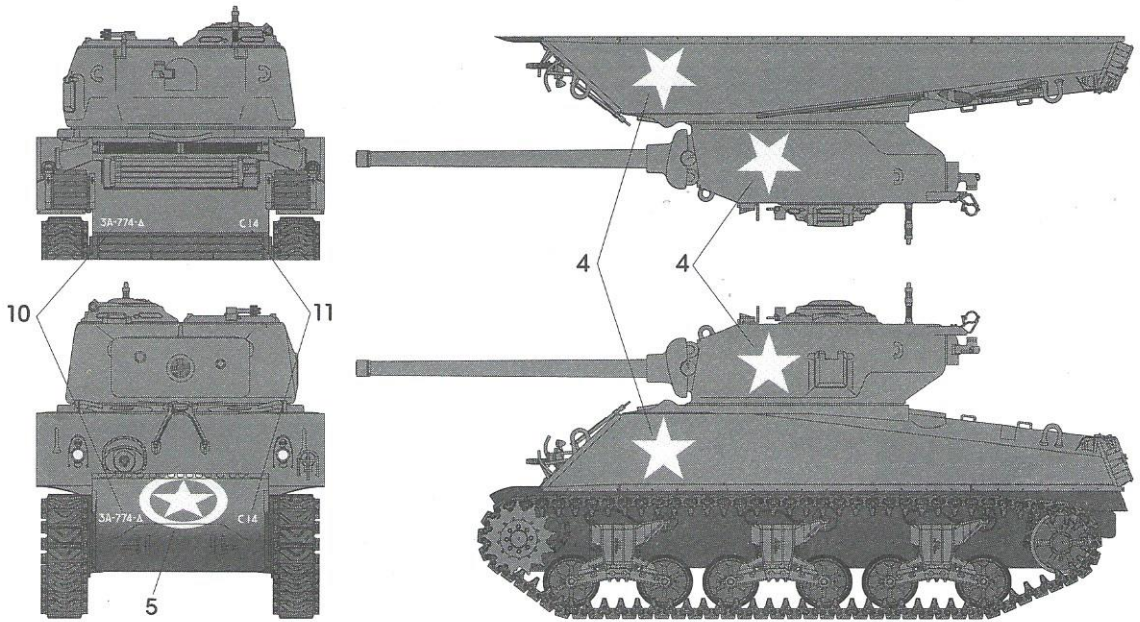
Marking Ex. 2.



塗装例 3

第3機甲師団 第774戦車大隊C中隊 1945年2月 ベルギー・ボヴィニー
C Company, 774th Tank Battalion, 3rd Armored Division. Bovigny Belgium January 1945.

Marking Ex. 3.



塗装とマーキング

CAMOUFLAGE & MARKING

■M4A3(76)Wの塗装について

第二次大戦中のアメリカ軍車輛の基本色はオリーブドラブの単色塗装でしたが、その色調は生産ロットや時期によってバリエーションがあったようです。ノルマンティ上陸作戦以降の北西ヨーロッパでも基本色はオリーブドラブでしたが、車輛によっては黒または暗い茶色の幅広い迷彩が施されたケースがありました。車輛の前面と側面、上面には国籍マークの白い星が描かれる規定になっていましたが、白い星は前線では非常に目立つため、黒かオリーブドラブで上塗りしたり、剥がしてしまう場合があります。また車体側面にはU.S.A.で始まる車輛登録ナンバーが書かれていましたが、大戦後半の車輛では消されていたものも多かったようです。また冬季の場合は白い水性塗料による冬季迷彩が施されました。

■カラーナンバー対応表 ※近似色です

タミヤカラー TAMIYA COLOR	GSICレオス Mr.カラー
X-7 レッド	③ レッド
X-10 ガンメタル	28 黒鉄色
X-11 クロームシルバー	⑧ シルバー
X-12 ゴールドリーフ	⑨ ゴールド
XF-1 フラットブラック	33 つや消しブラック
XF-6 コッパー	10 カッパー
XF-10 フラットブラウン	13 赤褐色
XF-56 メタリックグレイ	28 黒鉄色+⑩フラットベース
XF-62 オリーブドラブ	38 オリーブドラブ2

《不要部品》 Not used.

A部品	3,4,7,11,12
B部品	10,11,12,13
C部品	18,19,28,30,31,39,42,49,59
D部品	8,13
G部品	4-13,15,16
J部品	3,6,7,8,15
P部品 (ポリキャップ poly cap)	1
Z部品	22-29
エッチング (PE)	6

APPLYING DECALS

■デカールの貼り方

1. 貼りたいデカールを取り切ります。
2. 切り取ったデカールを水またはぬるま湯に10秒ほど浸します。
3. 台紙ごと引き上げ、布やティッシュペーパーなどの上に置いて余分な水を吸い取らせませす。
4. 台紙の端を持ち、デカールをスライドさせて所定の位置に貼ります。
5. 指先に少量の水をつけて、少しずつすらしながら微調整します。
6. デカール内側に残った水や気泡を柔らかい布や綿棒などで押し出すように取り除きます。
7. 貼ったデカールが充分乾燥するまでは絶対に触らないようにご注意ください。
8. モールドなどの表面の凹凸に馴染みにくいときは、蒸しタオルや市販のデカール軟化剤などを使用してください。

■アフターサービスについて

部品の不足や不良に関しては、無償で正規の部品を送付させていただきます。お手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称(番号)、数量を明記の上、メールまたは電話/FAX、お手紙のいずれかでご請求ください。またお客様都合による破損、紛失については、実費で部品をお分けいたしております。上記連絡方法のいずれかでご連絡いただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

- 電話/FAXでの受付
TEL 054-203-2100
FAX 054-203-2103
- メールでの受付 info@tasca-modellismo.com
- お手紙での受付 / 部品代金の送付先
〒422-8027 静岡県駿河区豊田3-5-30
有限会社タスカモテリズモ 部品請求係

有限会社 タスカモテリズモ

〒422-8027
静岡県駿河区豊田3-5-30
TEL 054-203-2100 FAX 054-203-2103
http://www.tasca-modellismo.com
E-mail info@tasca-modellismo.com

© 2010 tasca MADE IN JAPAN